

## 神の靈による力

ゼカリヤ書4章

万軍の主は仰せられる、これは権勢によらず、能力によらず、わたしの靈によるのである。(6)

エルサレムに帰還した民による神殿再建工事が始まったものの、工事は遅々として進まず、何度も中断を余儀なくされていきました。民の間には次第に不信と疑いが強まり、もはや工事の完成は無理ではないかという思いが広がっていききました。

このとき、主は再び幻を通してゼカリヤに語られました。「これは権勢によらず、能力によらず、わたしの靈によるのである」。主はこの言葉を神殿再建工事の総指揮を執っているゼルバベルに聞かせるように言われました。ゼルバベルは多くの困難のために途方に暮れていたのでしょうか。そのようなゼルバベルに、主は神殿再建という大事業は人間の力によつて成し遂げられるものではなく、ただ神の靈によつてなされるものであることを教えられたのです。目の前に立ち塞がる大きな壁を前にして、人は自分たちの力の足りなさを嘆き、働きを続ける氣力を失つてしまいます。けれども主のみわざの成功の秘訣は人間の力の大きさにあるのではなく、神の靈にあると主は言われます。それゆえわたしたちに求められていることは、主の靈が生きてわたしたちのうちに働いてくださることを切に求めることです。

自らの力の足りなさに絶望している人はいませんか。主の靈が生きて働いて、ご自身のみわざをなしてくださるよう祈り求めようではありませんか。